執筆者紹介

佐藤　慎司（さとう　しんじ）第1章・編者

【現職】プリンストン大学・東アジア研究学部・日本語プログラムディレクター・主任講師

【専門】教育人類学、日本語教育

【主要業績】［著書］『かかわることば』（共編著、東京大学出版会、2017）、『未来を創ることばの教育をめざして』（共編著、ココ出版、2015）、*Rethinking Language and Culture in Japanese Education*（共編著、Multilingual Matters, 2014）、『異文化コミュニケーションを問う』（共編著、ココ出版、2013）、『社会参加をめざす日本語教育』（共編著、ひつじ書房、2011）、『アセスメントと日本語教育』（共編著、くろしお出版、2010）、『文化、ことば、教育』（共編著、明石書店、2008）など

村田　晶子（むらた　あきこ）第1章・第4章・第8章・編者

【現職】法政大学教授

【専門】教育人類学、異文化間教育、日本語教育

【主要業績】［著書］『大学における多文化体験学習への挑戦：国内と海外を結ぶ体験的学びの可視化を支援する』（編著、ナカニシヤ出版、2018）、『未来を創ることばの教育をめざして：内容重視の批判的言語教育（Critical Content-Based Instruction）の理論と実践』（共著、ココ出版、2015）*Foreign Language Education in Japan: Exploring Qualitative Approaches*（共著、Sense Publishers, 2015）、*Global Migration and Ethnic Communities: Studies of Asia and South America*（共著、Trans Pacific Press, 2012）など

ましこ・ひでのり　第2章

【現職】中京大学国際教養学部教授

【専門】社会学

【主要業績】［著書］『あそび/労働/余暇の社会学――言語ゲーム・連字符カテゴリー・知識社会学を介した行為論』（三元社、2018）、『行動する社会言語学――ことば/権力/差別II』（共編著、三元社、2017）、『コロニアルな列島ニッポン――オキナワ/オホーツク/オガサワラがてらしだす植民地主義』（三元社、2017）、『言語現象の知識社会学――社会現象としての言語研究のために』（三元社、2017）、『『ゴジラ論ノート――怪獣論の知識社会学』（三元社、2015）、『ことばの政治社会学（新装版）』（三元社、2014）、『ことば／権力／差別――言語権からみた情報弱者の解放』（編著、三元社、2012）など

岡野　かおり（おかの　かおり）第3章

【現職】ラトローブ大学人文社会科学部（オーストラリア）教授

【専門】教育社会学・人類学

【主要業績】［著書］*School to work transition in Japan*（Clevedon, Avon: Multilingual Matters, 1993）, *Education in contemporary Japan: Inequality and diversity*（Cambridge: Cambridge University Press, 1999）, *Young women in Japan: Transitions to adulthood*（London: Routledge, 2009）, *Handbook of Asian education*（共編著, New York: Routledge, 2011, with Y. Zhao et al）, *Minorities and education in multicultural Japan*（共編著 , Routledge, 2012, with R. Tsuneyoshi & S. Boocock）, *Nonformal education and civil society in Japan*（共編著, London: Routledge, 2016）, *Rethinking Japanese Studies: Eurocentrism and Asia-Pacific region*（共編著 , London: Routledge, with Y. Sugimoto, 2018）, *Discourse, gender and shifting identities in Japan*（共編著、London: Routledge, with C. Maree, 2018）

津田　和男（つだ　かずお）第4章

【現職】国連国際学校（UNIS）教諭、全米北東部日本語教師会（NECTJ）会長、Movement for Language and Culture（MLC）代表

【専門】日本語教育、日本語継承語教育、IB Japanese A, B, TOK

【主要業績】［著書］*Kisetsu 1: Haruichiban*（共著 MLC, 2000, 2011）、*Kisetsu 2: Ginga*（共著 MLC, 2010）、*Kisetsu 2: Haruichiban Workbook 1*, *Kisetsu 2: Haruichiban Workbook 2*（共著MLC, 2001, 2011）、*Kisetsu 2: Ginga　Workbook*（共著 MLC, 2011）、*Kisetsu 3: Akimatsuri, Momiji-version*（共著 MLC, 2016）、*Akimatsuri, Icho-version; Akimatsuri, kuri-version*（著書 MLC, 2017）、『セオリー オブ ナレッジ 世界が認める知の理論』（翻訳編著, Person Japan 2016）, *Student HaikuAnthology 2006-2018*（編 MLC, 2018）、『漢字るワークブック1』、『漢字るワークブック2』（共著 MLC, 2018）、［論文］「中等教育と JHL――アカデミック・ランゲージとアイデンティティー」（『母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）研究』、プレ創刊号、2003、2010）、「国連国際学校における継承日本語教育の取り組み（3）模倣から創造へのプロセス―文学教育と言語教育」（『母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）研究』、第2号、2006）

山下　仁（やました　ひとし）第5章

【現職】大阪大学言語文化研究科教授

【専門】社会言語学、ドイツ語学
【主要業績】［著書］『「正しさ」への問い――批判的社会言語学の試み』（共編著、三元社、2009）、『「共生」の内実――批判的社会言語学からの問いかけ』（共編著、三元社、2011）、『言語意識と社会』（共編著、三元社、2011）、『講座ドイツ言語学3　ドイツ語の社会語用論』（共編著、ひつじ書房、2014）、『ことばの『やさしさ』とは何か――批判的社会言語学からのアプローチ』（共編著、三元社、2015）など

照山　絢子（てるやま　じゅんこ）第6章

【現職】筑波大学図書館情報メディア系助教
【専門】文化人類学、医療人類学
【主要業績】［著書］『障害のある先生たち――「障害」と「教員」が交錯する場所で』（共編著、生活書院、2018）、［論文］“Treatment and Intervention for Children with Developmental Disabilities”（Frühstück and Walthall (eds.) *Child's Play: Multi-sensory Histories of Children and Childhood in Japan*. University of California Press, 2017）、「発達障害の臨床における不確実性の経験」保健医療社会学論集29巻2号

堀口　佐知子（ほりぐち　さちこ）第6章

【現職】テンプル大学日本校学部課程上級准教授
【専門】文化人類学（日本のメンタルヘルス、教育）
【主要業績】［著書］*Japanese Education in a Global Age: Sociological Reflections and Future Directions*（共著、Springer, 2018）、*Life Course, Happiness, and Well-being in Japan*（共著、Routledge, 2017）、*Foreign Language Education in Japan: Exploring Qualitative Approaches*（共編著、Sense Publishers, 2015）、『「ひきこもり」に何を見るか――グローバル化する世界と孤立する個人』（共著、青土社、2014）

榎本　剛士（えのもと　たけし）第7章

【現職】大阪大学大学院言語文化研究科准教授
【専門】語用論、記号論、教育言語人類学
【主要業績】［著書］『言語人類学から見た英語教育』（共著、ひつじ書房、2009）、［論文］「ここに書かれていることは、嘘です：フレーム、あるいは『ことばの使用』をめぐるこの身近な大問題」（『日本語学』、2017）、「特集 メタ・コミュニケーション：社会言語科学に

おける共通基盤を求めて」（共編著、『社会言語科学』、2016）、「多層的相互行為としての『ボーナス・クエスチョン』：教室におけるメタ語用的言語使用という視点から」（『社会言語科学』、2012）、［翻訳］マイケル・シルヴァスティン著『記号の思想：現代言語人類学の一軌跡――シルヴァスティン論文集』（共訳、三元社、2009）など

川村　宏明（かわむら　ひろあき）第9章

【現職】米国オハイオ州　フィンドレー大学・言語文化学科・助教
【専門】先住民研究、シンボリズム、応用人類学（プログラム評価、言語教育）、日本語教育
【主要業績】［著書］“International Education as Intercultural Communication: Using Intercultural Development Inventory (IDI) as a Framework of Reference” in Mock, J., H. Kawamura, N. Naganuma (eds.), *Impact of Internationalization on Japanese Higher Education*（共編著、New York Sense Publishers, 2016）、［論文］「日本人学生は海外インターンシップから何を学ぶのか：機械工学系インターンシッププログラムの事例分析」（村田晶子編『大学における多文化体験学習への挑戦：国内と海外を結ぶ体験的学びの可視化を支援する』ナカニシヤ出版、2018）、「ホームステイ：言語文化学習者にとってのパフォーマンストレーング」（鎌田修、嶋田和子編『対話とプロフィシェンシー：コミュニケーション能力の広がりと高まりをめざして』凡人社、2012）

青山　玲二郎（あおやま　れいじろう）第10章

【現職】香港理工大学中国語双語学部研究助理教授
【専門】文化人類学
【主要業績】［著書］『世界に広がる日本の職人』（ちくま新書、2017）、［論文］“Global Journeymen: Re-inventing Japanese Craftsman Spirit in Hong Kong.” (*Asian Anthropology, 14*(3), pp. 265-282. Oxon: Taylor & Francis, 2016). “Nostalgic Migration: Factors behind Recent Japanese Migration to Shanghai.” (In Nagy, S. R., ed., *Japan's Demographic Challenges Revival – Rethinking Migration, Identity and Sociocultural Norms*, pp. 179-217. Singapore: World Scientific Press, 2016).

井本　由紀（いもと　ゆき）第11章

【現職】慶應義塾大学専任講師
【専門】文化人類学・教育学

【主要業績】［著書］『若者問題の社会学――視線と射程』（共編著、明石書店、2013）、*Foreign Language Education in Japan – Exploring Qualitative Approaches*（共編著、Sense, 2015）、［論文］「ことばでエスノグラフィーを書くこと、自己を振り返ること：越境する「私たち」と教育のフィールドワーク――対話的オートエスノグラフィーの試み」（徳永智子との共著、佐藤慎司／佐伯胖編『かかわる言葉――参加し対話する教育・研究へのいざない』、東京大学出版、2017）など

徳永　智子（とくなが ともこ）第11章

【現職】群馬県立女子大学国際コミュニケーション学部講師
【専門】教育社会学、教育人類学、異文化間教育
【主要業績】［著書］*Learning to Belong in the World: An Ethnography of Asian American Girls*（Springer, 2018）、*Japanese Education in a Global Age: Sociological Reflections and Future Directions*（共編著、Springer, 2018）、［論文］「多文化クラスにおけるチーム・エスノグラフィーの教育実践」（井本由紀との共著、『異文化間教育』46号、2017）、「国境を越える想像上の『ホーム』――アジア系アメリカ人の女子生徒によるメディア／ポピュラー・カルチャーの消費に着目して」（『異文化間教育』、40号、2014）、“ ‘I’m Not Going to Be in Japan Forever’: How Filipina Immigrant Youth in Japan Construct the Meaning of Home” (*Ethnography and Education*, 6(2), 2011) など